

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	すいか(ハウス) 40a、すいか(大型トンネル)30a、すいか(前進中型トンネル)60a、新てっぼうゆり(抑制)10a、ストック30a、ブロッコリー35a、水稻50a
自家労働	3人
その他	すいか選果場を利用

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		△◎—————□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f)×(G)×利率
農具舎	木・瓦	50 m ²	3,150,000	16	494,118	494,118	15	32,941	8	230,588	100	9,224
ビニールハウス	6m×50m	13 棟	19,582,920	50	9,791,460	9,791,460	14	699,390	7	4,895,730	100	195,829
トラクタ	4WD 25ps	1 台	1,920,000	16	301,176	301,176	7	43,025	4	129,075	20	1,033
ロータリ	160cm	1 台	381,000	16	59,765	59,765	7	8,538	4	25,613	20	205
土壌消毒機	6条	1 台	302,000	20	58,927	58,927	7	8,418	4	25,254	100	1,010
管理機	3.5ps	1 台	194,250	20	37,902	37,902	7	5,415	4	16,244	100	650
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	151,000	20	29,463	29,463	7	4,209	4	12,628	100	505
運搬車	クローラ式7ps	1 台	557,000	20	108,683	108,683	7	15,526	4	46,579	100	1,863
マルチはぎとり機		1 台	197,500	30	59,250	59,250	7	8,464	4	25,393	100	1,016
普通トラック	1.5t	1 台	2,230,000	16	349,804	349,804	5	69,961	3	139,922	100	5,597
軽トラック	660cc	1 台	850,000	16	133,333	133,333	4	33,333	2	66,667	100	2,667
合計			29,515,670		11,423,881	11,423,881		929,220		5,613,693		219,598

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
すいか	春のだんらん・祭ばやし777	ハウス	5,400kg	黒ぼく畑	40a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準		10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 員 時 間	延労働 時 間	
土 壤 消 毒	12/中	クロールピクリン	30ℓ	トラクタ ロータリ 土壌消毒機	○土壌病害、センチュウ害の多い場合に土壌消毒を実施する。	1.0 1.0	1 1	1.0 1.5	軽油 6.5 軽油 6.5
ハウス被覆	2/上		ビニール		○ハウス被覆は、P O 系使用の場合3年に1回程度交換を行う。		3	12.0	
土壌改良資材 施用	2/上	発酵堆肥 セルカフレンド	4 t 140kg	トラクタ ロータリ	○改良資材を施用し、ガス抜きを兼ねて丁寧に、耕うんする。	1.0	2	5.0	軽油 6.5
基 肥 施 用	2/中	MS 8 8 5 がいな有機 ダイアジノン粒剤	30kg 100kg 3kg		○基肥を施用し、耕耘する。 ○有機物の投入が多い場合は、 <i>グアイジン</i> 粒剤3kgを定植部分1mに土壌混和する。	1.0	2	3.0	軽油 6.5
整地・畦たて 除草剤施用	2/中	ケマト乳剤	200ml	管理機	○畦の中央を高くして、カマボコ型に整地する。	2.0	2	6.0	ガソリン 2.0
マルチ・トン ネル	2/下	灌水チューブ 透明マルチ トンネル支柱 トンネルビニール	333m 333m 167本 333m		○定植位置付近と、ハウスの端の中間付近に灌水チューブを設置する。 ○灌水を行い、床が湿った状態でマルチを張り、トンネル被覆を行い地温を確保する。		2 2	2.0 8.0	
定 植	3/上	西瓜苗 ダイヤキャップ アクタラ粒剤 5	470本 470枚 940g	軽トラック	○地温を確認後、植穴を切り、苗を植え付け、ダイヤキャップを活着までかける。	1.0	3	8.0	ガソリン 2.2
整枝・つる配置	3/下~4/中				○良くそろったつるを4本残す。樹勢を見ながら18節前後の雌花までに2~3回つるの整理と配置を行う。 18節前後の雌花がつる先に見えた頃に最終のつる引きを行う。		2 2 2	10.0 12.0 8.0	
換 気	3/中~5/下				○子づるが10cm程度伸びた頃より花芽分化するので高温にならないように換気する。 ○交配までは日中の換気によりじっくり生育させる。 ○交配前後は保温に努め、着果・果実肥大を進める。		2	15.0	
交 配	4/中~4/下	交配用みつばち クレバス	3 箱 10本		○肥大中期以降、草勢低下につながる蒸し込みにならない温度管理を行う ○着果節位は草勢が整えば18節前後で着果させる。 ○みつばちと人工交配を併用する。 ○交配日がわかるように、クレバスなどで色分けを行う。		2	8.0	
摘果・玉直し シート敷き	5/中~5/下	シート	940枚		○果実が鶏卵大になった頃、形の良いそろったものを1株当たり2果残す ○交配後2~3週目頃にシートを敷く		2	17.0	
灌 水	5/上			灌水装置	○着果後、肥大期に灌水を行う。 ○収穫20日前頃には灌水は控える。		1	2.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
防 除	3/下～5/下	ジマンダイセン水和剤 ベルコート水和剤 カンタストライフロアブル タコニール1000 ロフラル水和剤 トリフミン水和剤 チェス水和剤 ウララDF アドマイヤー水和剤 バロックフロアブル 展着剤アグラール	250g 150g 267g 250ml 300g 60g 30g 125g 150g 150ml 500ml	動力噴霧機 軽トラック	○病害は予防散布、害虫は発生初期の 防除に重点を置いた散布を行う。	12.0	2	16.0	ガソリン 12.0
取 穫	6/上～6/中			運搬車 普通トラック 軽トラック	○交配後50日前後を目安に検査をし て収穫する。	2.5 2.5	3	40.0	ガソリン 5.0 ガソリン 2.0
後 片 づ け	6/下			軽トラック	○茎葉は収穫終了後、早めに抜き取り 乾燥して焼却などして処分する。	2.0	3	16.0	ガソリン 2.0
合 計								190.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	975,240	生産量① : 5,400 kg 単価② : 181 円/kg
	主産物価額	0	生産量 :
	主産物価額	0	生産量 :
	副産物価額④	0	
	計 (A)	975,240	
生産	種 苗 費	70,500	
	肥 料 費	44,114	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	54,115	"
	諸 材 料 費	129,507	"
	動力光熱費	9,044	
	農 具 費	11,754	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	69,214	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	4,132	
	雇 用 労 賃	1,680	
	減価償却費⑤	232,305	別表のとおり
	土地改良費	3,143	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	629,507	
費	販売費一般		
	出荷資材費	51,150	
	管理費		
	販 売 諸 費	181,071	
	諸税負担金	7,238	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	2,180	農業新聞購読料、電話代
支払利息⑦	619	借入資本利率2%	
小計 (C)	242,258		
経 営 費 (D)	871,766	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	247,910	農 従 労 働 時 間 : 187.4 生産管理労働時間 3.3 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	1,119,676	主産物単位当たり 207 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本			
流動資本利子⑨	17,735	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)			
固定資本利子	54,899	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	4,211		
全算入生産費 (H)	1,196,521	生産物単位当たり 222 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	103,474	時間当たり 543 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	11	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-221,281	注) (K) = ③- (H)	
家族労働報酬 (L)	26,629	時間当たり 140 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-144,436	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
土壌消毒																																			2.5		2.5
ハウス被覆				12.0																																	12.0
土壌改良資材施用				5.0																																	5.0
基肥施用					3.0																																3.0
整地・畦づくり					6.0																																6.0
除草剤施用、マルチ・トン						10.0																															10.0
定植							8.0																														8.0
整枝・つる配置									10.0	12.0	8.0																										30.0
換気								1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1.0																						15.0
交配										4.0	4.0																										8.0
摘果・玉直し・シート敷き													8.0	8.0																							16.0
灌水													2.0																								2.0
防除									4.0	4.0	4.0	4.0																									16.0
収穫															30.0	10.0																					40.0
後片づけ																	16.0																				16.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
																																					0.0
計	0.0	0.0	0.0	17.0	9.0	10.0	8.0	1.0	16.0	14.0	18.0	7.0	8.0	10.0	13.0	30.0	10.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	189.5